

創業の精神

株式会社誠和商工

当時、建設用火薬鋏販売会社で北海道の責任者を務めていた創業者は、東京で働く後輩社員たちが会社を辞めるといふ話を聞いて、東京に飛んだ。

仕事が嫌なのではない。会社が社員との約束を守らない。

経営者だけが良い思いをしている。皆そんな思いを持ってた。

経営者と社員たちの間に入り話し合い、その場を収めた。

はずだった。が、数カ月後またしても同じ状況に……。

再び、東京に飛んだ。

今度はいくらか説得しても社員たちは納得しない。

もう限界であった。

それなら、自分たちで会社を創ろう。そう決意した。

社員やお客様を裏切るような事は、決してしない。仕事、

会社には「誠」がなければならない。

お互いを尊重し、仕入先、お客様との「和」を大切にして

いこう。

その念いを「誠和商工」という社名に託し創業した。



創業者 北村勇一